

自分という敵

〈文〉スペースベン代表・田中 勉

西暦二千年の年も明け、新しい年度を迎えるにあたり、皆様がいかにお過ごしでしょうか。進学する方、就職する方、それぞれの過ごし方をして、準備は万全でしょうか？

ステージといっても、人それぞれであり、人生そのものがステージというしかない、雑多な世紀に向かっている今、「何と苦痛な」時代に生きているか、と思うか、「何と楽しい」時代に生きているかということ、それぞれに改めて認識できるということは、個人的には、すごく、素晴らしいこと

だと思っ毎日ですが、自殺・いじめ・戦争が日常的に行われている今の時代の中では、「癒し」も日常化され、意味のないこととなつてしまっているのでしょうか。非日常が日常化され、日常が非日常化される。それこそが、本当にオソロシイことなのではないかと思うんですが……。

ともかく、毒も市販化されている今、自分をしっかり持って、21世紀に立ち向かいます。

先日、元X-JAPANのトシのライブがありました。

彼が言っていること

は、すごく当然のこと
で、それをモットモラシク、くどくどと言うのが気になったところではありますが、流石に歌はうまいですね。

歌詞の内容はともかく、全く声は素晴らしい。

その意味では、くどくどと歌の素晴らしいさを解く人間よりは、ある意味で頂点を極めた人間の「声」を聞くことがいかに勉強になる

かということ、肌で感じてほしいライブではありません。

ミキシングをしていて、興奮させられたのは事実でありました。

何も、ウマイ歌が聞きたいのではありません。

似たような骨格、体形をしていれば、ウマイ歌を歌う人はいくらでもいます。

それは何の魅力もありません。その人の生き方が聞きたいのです。

その人の、真の「声」が聞きたいのです。

酔っぱらって自分の「声」で歌を歌う人がいます。

それを笑う人もいます。しかし、そうでしょうか。

ぐでんぐでんに酔っぱらい、立ててもせず、声も出ない位になつても歌つてしまふ。

そんな人間が歌うカラオケを、私は愛したいと思えます。

そして、それこそが、その酔っぱらいに接することが、ある意味で本物と付き合うことになるというのを、忘れてはほしくないのです。

先日、夢を見ました。親友と言

える人間かどうかは、未だに分からない人間ではありますが、放っておけない人間であることは確かです。

その人間が、今の私を責めるのです。

夢占いで、今の私を判定して欲しいのではないのです。

3月の **F**riday **A**musement **N**egative **S**hop

※全て午後7時30分～、料金500円
※チケットはスペースベンにて販売

■3月3日 (317回)
「FANSプレゼンツ VOL. 18」

■3月10日 (318回)
「FANSプレゼンツ VOL. 19」

■3月17日 (319回)
「Battle Talk VOL. 2」

■3月24日 (320回)
柏崎真由美演劇公演

■3月31日 (321回)
「ひま人」 出演：田中勉

●●FANS番外篇●●●●●

■19日 (日)
「西尾まさきライブ」

開場：19時
開演：19時30分
料金/一般……2000円・高校生以下……1000円
(※当日500円増し)

中里病院
→至三日町

NTT
Space BEN

駐車場はございませんので、車のご来場はご遠慮下さい。
(近くに西町書店駐車場有り)

☎ スペースベン
八戸市柏崎1-11-8
☎FAX 43-9876

FANSの番組につきましては、デーリー東北の「あすのメモ」「きょうのメモ」欄でご確認下さい。

FANSでは、役者、スタッフ、その他何でも、何かを表現してみたい人を募集しています。ご遠慮なく、ご連絡下さい。